

事例1

母親クラブによる公園の安全・防犯点検

谷田部母親クラブ [茨城県つくば市]

母親クラブは子どもたちの健全な育成を願って、世代間の交流活動、遊び場や遊具の点検、交通安全指導、防犯パトロールなどを行っているボランティアグループである。

その全国組織である全国地域活動連絡協議会「みらい子育てネット(母親クラブ)」の呼び掛けにより、7月を「公園の安全月間」として子どもたちが夏休みに入る前を中心に、全国のそれぞれの地域で、「遊具の安全点検」(平成15年度から)と、「公園の防犯点検」(平成18年度から)を実施している。

地域の公園の隅々までを細かくチェック

茨城県つくば市の谷田部母親クラブでは、地域のなかの「羽成公園」において、千葉大学名誉教授・中村攻氏の指導と、つくば市都市施設課公園管理係の職員の立会いのもとで、母親クラブのメンバーによる「公園の防犯点検」と「遊具の安全点検」活動を行った。

活動では、子どもを遊ばせながら公園内を巡回し、木製デッキやベンチの腐食具合、遊具の老朽化や変形などの安全面でのチェックや、植栽や築山などの地形の起伏により生じる死角のチェック、犯罪被害に遭いやすい公衆トイレの状況などを点検し、点検マップに現在の状況と改善要望等を記入した。

参加した母親たちは、子どもが普段遊んでいる身近な公園だけに、点検活動に積極的で、改善や修理を要望したところが、次の年の改善状況はどうなっているかについての関心も高い。

行政への働き掛けによる官民協働の活動

つくば市内17の母親クラブでは、茨城県地域活動連絡協議会(会長・根津久美子)の調整のもとで、毎年、7月から9月まで市内100か所の公園点検を行っている。つくば市都市施設課公園管理係からすべての公園のリストと平面図を提



木製デッキの腐食具合をチェック



公衆トイレの状況を点検

出してもらい、それをもとに、一つひとつの公園で各地域の母親クラブの会員たちが、子どもをもつ親の視点で点検し、公園の安全面や防犯面の現状、過去の点検により把握された不具合や危険性、これまでの改善内容を一覧化し、市役所に報告書と要望書を提出している。

こうした活動を市内のすべての母親クラブが行い、行政に働き掛けている。行政側の担当が替わったとしても、申し送り事項として継続され、着実に成果を生んできている。

子どもの安全を見守る環境づくりを願って

谷田部母親クラブは平成6(1994)年に誕生した。母親同士が週に1回のペースで、自主的に企画し、そば打ち体験やヨガ教室、バレー、ボーリングを楽しむ活動をしている。その他にも、児童館のお祭りや読み聞かせなどに、母親たちがボランティアで参加している。

公園の遊具の安全点検と防犯点検活動に関しては、子どもを守ることは母親クラブの役割の一つとして、会員たちのコンセンサスも得やすかったという。

公園の安全確保のためには、地域の自治会をはじめ、さまざまな住民や団体がかかわることが望まれる。3年前の防犯点検の際には、公園の近所の自治会の班長にも飛び込みで声を掛け、参加してもらうなど、地域住民との協働のための接点づくりにも努めている。しかしながら、母親クラブとして本来の活動を行いながら、そうした関係をつくっていくことは容易ではないという。

母親クラブでは、今後も「公園の防犯点検」や「遊具の安全点検」を通して、子どもたちが安心して遊ぶことのできる公園の維持をめざしている。そして、「まちの子は、みんなわが子」を合い言葉に、かつての大人たちが、自分の子と他人の子の分け隔てなく、注意をしたり、叱ったりしていた地域の力を、もう一度取り戻し、多くの人たちの目によって、子どもたちの安全を見守ることのできる環境づくりを願っている。

谷田部母親クラブ 会長

みやた さちこ
宮田 幸子さん

